

平成 16 年度「特色ある大学教育支援プログラム」

採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	金城大学短期大学部	整理番号	2-2-017
応募テーマ	主として教育課程の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	キャンパス内におけるキャリア教育－意識変容への挑戦－		
申請単位	学科単位		
申請担当者	岡野 絹枝		
<p>(取組の概要)</p> <p>本学ビジネス実務学科の学生に対し、目的意識や職業意識の明確化、基本的マナーの向上などを図ることを目的として、キャンパス内における継続的なキャリア教育を実施することとなった。キャリア教育の目標を「専門技能の習得」と「態度変容」に絞り、これを「キャリア形成支援プログラム」として、①資格取得支援、②社会的スキル習得支援、③キャリア・カウンセリングの3分野に分け、専任教員および非常勤講師連携体制の下、平成 14 年度から平成 16 年度までの3か年プログラムを構築し、実践した。2年後の平成 15 年度末での成果は、①資格取得数の倍増、文部科学大臣奨励賞受賞、自宅学習の増加、②挨拶行動や対人態度の変容、③就職内定率の上昇、1年次における退学者数の大幅減少など顕著な改善が見られた。</p> <p>態度が変われば意識変容が生じるものと信じて、今年度もプログラムを推進し、更に社会人も対象としたプログラムに発展させ、地域貢献へとつなげていく計画である。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、学生の「キャリア教育」支援を組織的に推進していくために、①資格取得支援②社会的スキル習得支援③キャリア・カウンセリングという3点の視座からなる「キャンパス内におけるキャリア形成支援プログラム」を設定し、着実な成果を上げている取組として評価できるものです。</p> <p>単なる職業対策ではない「キャリア教育」の必要性は、現在、社会的要求として高等教育機関に強く求められています。2年間という限られた教育課程の中で適切な職業観を身につけさせ、学生各自に主体的な進路を選択させるという望ましい形での「キャリア教育」の実現は、いずこの短期大学においても苦勞の多いところですが、この取組は、他でも共有できる面が多々あり、参考になり得る優れた事例であると判断しました。</p> <p>この取組には、評価を具体的数値として表したうえで、自己点検を進めていく必要があり、そうした面での課題も残されていますが、これを克服すれば更なる発展が期待されます。</p>			